被服学習における基礎技術内容について

野　々　市　幸　子

Ⅰ　家庭科学習における技術学習の位置

戦後の家庭科教育は色々に批判されているが，みんながこんなに生活を大切にし，文化的に向上させようと努力するようになったその効果はめざましいといわれる反面，此の頃の学校では家庭で一体何を習うのか，中学校どころか高校を出てさえも自分で着るもの一つ満足につくれない，という非難の声もきかれる。加えて昨年秋に発表された中学校学習指導要領の改訂によれば，技術教育振興のもとに「技術・家庭科」という新教科で発足するという。さてこそ昔の家事，裁縫の復活だ。みっしり技術が仕込まれるのだと早合点される向きも一般には少くないのではなかろうか。

家庭科は家庭生活を学習対象とするから，そこで営まれている食事ごしらえや，衣類の仕立等も当然その内容として取り扱われねばならない。しかしもっと広いもっと基盤になる「家庭における生活の仕方」を考えないでは「家庭生活をよりよく向上発展させる」という家庭科の一大目標は達成されない。食事のととのえ方や，衣服の仕立方等も，よく食べるための食物調理であり，よく着るための被服製作でなければならない。更に，よい食生活であるばかりでなく，衣生活も住生活も保育も，家庭生活のどの部面もが同じようによりよくなるためには，生活全体を眺め調和をとって進めてゆく管理の仕方がわからねばならない。更にその上に，よりよく進めてゆくというが，どういう風になるのがよいのかという発展の方向をみきわめねばならぬ。ところで家庭科は又，こうした広範囲な内容もそれを理解し，心構えをつくっただけでは不十分である。このような心構えや理解は具体的な日々の生活の中に，行動となって現れることの前提としての意味をもつもので，それがなければ無意味である。正しい家庭生活の見方，考え方を毎日の生活に十分に生かしてゆく。そこに技術学習の必要が生れてくる。いかに十分な理解や心構えを持っていてもそれを行動に現わすすべを知らなければ，結果は無知と同様である。そしてその実践は科学的に方法化された技術の学習によってその効果を十二分に発揮できるものであろう。今度の改訂で技術指導の面が目立つのは，以前の家事，裁縫のような技能教育をめざすのではなく，家庭科の内容として知識，理解，態度といった面と表裏一体でなければならぬ技術面が，今までともすれば新しい分野として加わってきた知識，理解，態度の面に目を向けすぎ，おろそかにされていた点を是正されたものと考えられる。

技術学習は家庭科学習の重要な要素である。技術指導こそ家庭科独自の内容として十分力を尽さねばならぬものである。しかしそれはあくまでもその内に科学があり，家庭生活の理念に方向づけられた精神がそのうちにひそむようなものでなければならず，知識や理解や態度はいつも技術のうちに現われるものとして指導さるべきであろう。

Ⅱ　学校における被服技術学習の扱い方

家庭科の技術といえば運針を想像する程非常に多くの問題をもつ被服に関してだけ範囲をしぼり，小・中・高の各学校ではそれぞれどんな扱いをせねばならぬかを，学習指導要領を通して眺めてみた。（小・中学校では改訂学習指導要領，高校では昭和31年改訂版より）先ずその目標中より技能又は技術の扱い方に関するものだけを取り出してみると次のようである。

小　学　校……初歩的・基礎的な知識・技能を習得させ，日常生活に役立つように…

中　学　校……生活に必要な基礎的技術を習得させ……

高校家庭一般……家庭生活に必要な技術の基礎を身につける。（日常生活に緊密な関係をもつ内容を精選……）

高 校 被 服……家庭生活に必要な被服に関する知識・技能および態度

いずれにも共通して現われているのはその技術が基礎的なものであるということである。技能とか技術とかいったものは，その程度も範囲も非常に広いものであって，それを一から十まで学習してゆくのでは，どれだけ時間をかけてもとてもやり通せるものではない。又教育は今日只今の生活に応ずると共に，明日の生活に活かされうるものでなければならないわけであって，多くの技術の中には時代の進歩に伴っていつの間にか間に合わなくなるものもあり，又新しく必要の生じてくるものも出てくる。こういった将来の生活の多様性や変化にも目を向けていけば，単なる知識の注入や，固定した技術の教育では役に立たないということになる。結局学校で学んだことが，将来の生活の多様性や，可変性にも応じてゆける活用自在のものでなければならぬわけである。こうした学習の転移といった問題は，その内容が機能的に一般化され，原理原則の形になるとその可能性が増すといわれる。そして単に具体的な経験を豊富にするだけでは得られないのであって，系列的連続的な学習によりたかまるものだとされている。指導要領中の基礎的技術というのも，技術の中の，こうした原理原則的なものを意味するものと考えられ，小・中・高を通じて一定の系列と，連続的な扱いによって学習されるものであることも，その目標中よりうかがえるのである。即ち，小学校では「初歩的，基礎的なものの習得」を第一のねらいとし，実生活との関係は，それを「日常生活に役立たせるように」といった程度である。中学校では生活との結びつきが幾分強く，基礎的技術の範囲も「生活に必要な」ものとなっている。高校家庭一般では「日常生活に緊密な関係をもつ内容を精選」するとして，一層生活との関連性が強く，基礎的技術にも具体性をもたせ複雑になってくる。そして習得の仕方も「身につけさせる」となって，相当徹底させることを期待している。高校被服になるともはや「基礎」という枠ははずされ，生活全般に必要な技能の養成をめざしているから，基礎的技術は小学校で最も初歩的原則的なものから始まり，次第に具体性をもたせ複雑となり，高校家庭一般で一応の完成をみるものと考えられる。

技術という言葉からは，とかく細かな針目で一定の間隔を置いて真直ぐに早く縫うという様な修練を積むことが想像され勝ちであるが，学校で扱う技術もそのような習熟の域まで達することを目標にしているのであろうか。又基礎的技術の習得には洋裁学校などで実習しているように，基礎縫・部分縫などによって技術の要点を部分的に学習するものであろうか。これらについては次のような指導方針がのべられている。

小学校学習指導要領…技能の指導は正確に身につけさせることをねらいとする。しかし単に手先の巧みさだけをねらっているのではなく，学習の過程における注意深さ，どう察

や工夫，構想力などの発達をねらっているのである。それゆえ指導にあたっては，目的をはっきりさせ学習の意味をよく理解させることが必要である。また合理的に学習させるように指導するとともに楽しく学習させるように工夫したり完成の喜びを味わわせることがたいせつである。

中学校……必要な技術の基礎的事項を「（実習例）」にあげたものの製作に即して指導……

現行職・家学習指導書……技術の基礎的な指導においてはその巧拙よりは正確なものを身につけさせることに重点を置かなければならない。それでどの程度までを扱うかを熟慮して，基礎縫などを製作させるために多くの時間を費すことなく，実物製作に沿って基礎学習をさせるように指導する。

高校家庭一般指導書……その製作を通じて日常の被服に関する一連の基礎的知識技能をはあくさせ……

これらを通じてみられることは，学校における技術教育は，自由に応用できる基礎的なものを正しく習得させることをねらい，その巧みさまで要求するものでないこと。又その方法としては，時間的にも制約をうけているから基礎縫などで多くの時間はかけられず，学習の興味・完成の喜といった面からいっても，すぐに生活に役立つ実物製作を通して，総合的な技術指導の中に部分的な要所を見出し，注意深く観察・洞察させ，正しい把握にみちびくように指導せねばならぬということになる。

Ⅲ　被服縫製上の基礎的技術の種類

学習指導要領でくり返し述べられている基礎的技術とは，多くの技術の中でどれらを指すのか，又小・中・高の各段階ではその内どの程度までをねらったらよいのかということが次に出てくる問題であろう。

そこで先ず一般向きとされている洋裁・和裁の指導書の数冊を参考に，そこで扱っている基礎縫部分縫等を抜き出してみた。それらの間には取り上げ方等多少の違いもみられたが，大体そのねらいとしているものには共通性があり，一般の人々の間で基礎的技術といわれているもののあらましを握むことができた。（表１．(1)参照）

これでは洋裁の基礎的技術と和裁の基礎的技術が別になっているわけであるが，表中の印でも分る通り両者の間には共通的なものが多くある。即ち洋裁におけるぐし縫・返し縫・まつりぐけ等そのまま和裁においても用いられるものであり，袋縫い・三つ折縫い・折伏せ縫等，ミシン縫か手縫いかの違いだけで，やり方は全く共通性があるもの，又しつけと置しつけのように，用いる場合と方法は異るが，出来上りは全く同じにみえるものなど，共通性が多分にあることに気付く。実際の家庭生活を眺めても，これからはますます伝統的な純粋な和服の利用度は低下され，ウールの着物等和洋混合の現代服といったものの実現も可能性が濃い。学校の被服教育でも，和洋の別をはっきりさせているのは高校職業コース位で，最も初歩的な小学校では，洋裁・和裁等の言葉も出てこない。これらの点から考え合せてみると，洋裁和裁の別は全く意味がないし，基礎技術の扱い方の上でも手縫いの技術・ミシン縫の技術といったもので統一されれば，二度手間をはぶいたり，やり方に共通性のあるものは関連づけて扱うなど能率的となり，理解もしやすく，技術の応用の面でも融通性がつよくなるのではなかろうか。

表 1　被服縫製上の基礎的技術の種類

資料	洋裁基礎技術	しつけのかけ方				千鳥掛			八刺し（刺し縫）	かがり		まつり							いとり縫				地縫い				留め方			ミシン縫		
		○置しつけ	◎切しつけ	◎斜しつけ	返ししつけ	◎普通千鳥	立千鳥	略千鳥		◎端かがり	◎スカラップかがり	◎まつりぐけ	つりたてまつり	奥まつり	逆まつり	（渡しまつり）（薄地）	はしごまつり（厚地）	よりぐけ	◎返し縫い	◎ぐし縫い	◎からげ縫い	星縫い星止め	かんぬきとめ	巻きかんぬき（飾り）	刺しかんぬき	松葉止め（三角かがり）	直線縫い（地縫い）	曲線縫い	斜地縫い
1	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	B	○	○	○		○	○		○			○	○	○		○	○	○	○	○	○					○	○	○			
	C	○	○	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○		○		○		○				○	○	○			
	D	○	○	○		○	○					○		○				○		○	○						○				
2	小学校 イ											○							○	○							○				○
	小学校 ロ																											○		○	
	中学校 ハ	○		○																	○		○								
	中学校 ニ									○																					
	中学校 ホ					○																									
	高・家一般 ヘ			○		○								◎											○						
	高・家一般 ト		○				○	○	○				○		○	○															

	あきの始末				ループ		ボタンホール								バイヤステープ												縫ミシン											
	見返し持出つづき	前立つき前あき	背あき（裏当布）（持出しつき）	台づき玉ぶち	糸ループ	布ループ	玉ぶちボタンホール	ねむり穴	はと目つきかがり	はと目かがり	両留かがり	片留かがり	パイピングB（縫はさみい）	パイピングA（えミシン上から押）	バイヤス見返し	スカラップ	くぼんだ角	とがった角	玉ぶち角の始末	二重玉ぶち	玉ぶち	バイヤスの接ぎ方	バイヤスの裁方	ピコミシン	飾りミシン	捨てミシン	○三つ折縫い	○折伏せ縫い（縫くるみい）	○袋縫い	落しミシン	押えミシン	割ミシン（伏せ割り）	○割縫い
	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○		○			○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○						○	○	○	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○
	○	○	○				○		○			○			○					○	○	○	○	○				○	○	○	○		○		○	
	○		○		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○			○	○	○	○		○	○	○	○
		○									○	○													○	○										
					○	○																														
							○				○																									
							○																													
			○																												○					

あきの始末												えりの縫方															そでの縫方						
バイヤス玉縁あき	ファスナーつき明き（ファスナーのぞく）	ファスナーつきあき（縫目利用ファスナーみえない）	ループつきあき	スカート脇明スナップ止め（脇縫目割る）	同左（脇縫目片返し）	スカート脇明きファスナー	ワンピース脇明き（スナップ）（脇縫目割る）	同左（脇縫目片返し）	同左（ファスナー止め）	肩あき	片玉ぶち明き	ショールカラーの縫い方	ショールカラーのつけ方（前立ある時）	同左（前立なしの時）	ショールカラーのつけ方（みかえしはさみづけ）	スポーツカラーのつけ方（えりつけ片返し）	同左（えりつけ割り縫い）	タートルカラー	みかえしつづきえり（へちまカラー）	同左（ウイングカラー）	チャイナカラー	むすびえり	ステンカラー（芯入り）	芯を入れてつくるえり（ワイシャツえりなど）	テーラーカラー	前立つき前あきとシャツカラー	シャツカフス（袖先明き）	同左（袖先明きなし）	折返しカフス（袖つづき）	同左（別カフス）	同左	カフスなし袖口（一枚袖）（裏なし）	同左（同）（裏つき）
○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○			
○			○	○	○	○	○	○		○		○		○						○						○	○	○		○		○	○
	○		○			○		○	○	○	○		○	○													○	○				○	
													○																				
					○	○						○	○	○	○	○				○							○	○	○			○	
	○	○					○	○	○								○	○	○		○	○		○						○			
				◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎			◎			◎					◎	◎	◎			
○			○							○	○																						○

	レースつけ				ダーツ		丸味角の始末			パットのつくり方			バンド通し			ボタン，スナップ，ベルトのつけ方								スカート，ウエストのまわりの仕末		そでの縫方		
	かとかがる（布を撚ってし）	同左（布を押えミシン）	糸レース（布を上にの）	同左（バイヤスでくるむ）	厚地の場合	薄地の場合	角の始末	同左（厚地）	丸みの始末（薄地）	ブラウス用	フレンチ用	ドレス用	くさりあみ	ドレスループ	ドレス共布	ズボンの場合	ベルトのつくり方	バックルのつくり方	かぎホックのつけ方	スナップのつけ方	同左（綿を芯のボタン）	同左（飾りくるみボタン）	くるみボタン（木ボタン）	ボタンのつけ方	バンドのつけ方	インサイドベルトのつけ方	パフスリーブ	ワイシャツカフス	同左（二枚袖）（裏つき）
	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○				○
	○						○		○			○									○	○	○	○			○		
							○		○		○											○	○	○					
		○					○	○																					
		○			○					○	○								○						○	○			
																								○					
			○	○													○	○			○	○	○						
												○		○	○				○	○		○						◎	
													○				○	○	○	○		○		○		◎			
						○			○																				○

	すそ始末														肩・脇・袖下の縫代始末								見返しつけ				レースつけ					
															地縫いして割る片返しの場合																	
裏なし厚地角額縁	裏なし薄地	同左（ループどめ）	裏つきコートの始末（千鳥がけ）	裏つき裾の始末	裾玉縁始末	千鳥がけ	ヘムの少い時	ジャージーの場合	厚地・リボン	厚地バイヤステープ	厚地折って縫いちぢめ	薄地端ミシンとタック	薄地で曲線	薄地で直線	袋縫い	折伏せ縫い	端に二度ミシン	二枚一緒にかがる	バイヤス玉縁	ピンキング	端ミシン	裁目かがり	連続山形の見返し	曲線の見返し	切りこみを入れたあき	スカラップ	柄物レースのつけ方	ミシンレースを上にのせピコの縁かざり	両側とも模様のレース	両耳レース	えり前立ての飾り	同左（のせミシンレースを上に）
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○
○	○			○	○					○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				
					○	○	○			○			○														○		○	○	○	○
						○				○		○	○		○	○			○	○	○											
	○																															
							○					○	○	○	○		○	○		○	○	○										
																										○						
								○	○	○	○	◎	◎									○										
○				○	○	○	○												○													

補綴	色紙つき	フランス刺繍	プリーツ	タック(ピンタック)	ゲイジング	ギャザー	パンチウォーク	キルティング	ベーニング	ファゴッティング	スモッキング	シャーリング	ドロンウォーク	カットワーク	裏つき肩合せ	袖けつ 袖山いせこみ	袖けつ 裏つき始末	袖けつ 袖バイヤス始末	ポケット 内ポケット	ポケット 同左(スラックス用)	ポケット 同左脇割縫	ポケット 脇ポケット(脇袋縫)	ポケット ヒップポケット	ポケット 飾りフラットポケット	ポケット ふたつきポケット	ポケット 同左(ダーツ縫目利用)	ポケット 同左(薄地)	ポケット 箱ポケット(厚地)	ポケット 玉縁ポケット	パッチポケット あわせ雨蓋つき	パッチポケット つけ方(なし飾りミシン)	パッチポケット つけ方(飾りミシン)
	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
				○					○								○		○		○	○	○		○			○	○	○	○	○
	○		○	○	○	○	○			○	○	○						○														
																		○														
	○	○																														
																○						○	○									
						○									◎	◎		◎												◎		
				○												○	○	○													○	
																			○				○		○	○	○	○	○			

資料	和裁基礎技術	運素縫い	針◎本縫い(くし縫い)	糸の結び方 留結(玉結び)	引結	細結	機結	糸のつぎ方 結びつぎ	重ねつぎ	よりつぎ	糸の留め方 打留(玉どめ)	一針返し留	返し留	抄い返し留	結び留	門止	縫い方 合せ縫(並縫い直線縫い)	同左(一針抜き)	同左(刺針)	斜線縫い	二重縫	重ね縫(重ねつぎ)	伏せ縫	○折伏せ縫	端伏せ縫
1	E	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○	○	○	○	○
	F	○	○				○	○	○	○	○		○	○			○			○	○	○	○	○	
	G	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		
2	小学校 イ ロ			○					○		○			○			○						○	○	
	中学校 ハ ニ ホ	○	○				○	○				○	○		○	○				○	◎				○
	高・家一般 ヘ ト																								

級補	ほつれやすい布のつぎ	つぎポケット・ボタン穴の	つき合せつぎ	穴つぎ
	○	○	○	○
	○	○	○	○
		○		○

縫い方									掛け方									袋けの方														
○三つ折縫	○袋縫	◎返し縫	◎まとい縫	◎かがり縫	つまみ縫	○割り縫	つき合せつぎ	○並縫	○かざりしつけ	両面しつけ	縫縫	隠し縫	◎斜しつけ	◎切りしつけ	ふくさしつけ	耳くけ	折りくけ	三つ折くけ	本くけ	縫いくけ	◎まつりぐけ	よりぐけ	◎千鳥ぐけ	伏せぐけ（折りく併用）	挟みぐけ（本ぐけ併用）
○	○	○	○	○				○	○		○	○	○												
○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○													
○	○	○	○	○			○		○	○	○	○													
		○																			○				
○	○																	○			○				
			○					○	○			○				○	○	○	○					○	○

〔注〕

◦資料1　A……洋裁の基礎篇（全国家庭科教育協会編）
　　B……ドレメ式洋裁（杉野芳子著）
　　C……文化服装講座婦人服前篇（野口益栄著）
　　D……主婦の友花嫁文庫洋裁（主婦の友社）
　　E……裁縫精義基礎及び単衣篇（奈良女子大裁縫研究会著）
　　F……主婦の友花嫁文庫和裁（主婦の友社）
　　G……和服裁縫系統的精鋭（石田はる著）

◦資料2　イ……小学校改訂学習指導要領明記のもの……○
　　ロ……同上実習内容より，取扱われると思われるもの……○
　　ハ……中学校改訂学習指導要領1年実習例（ブラウス・スカート）より取扱われると思われるもの……○
　　ニ……同上2年実習例（休養着としてのひとえ長着又はパジャマ）より……○
　　ホ……同上3年実習例（ワンピースドレス）より……○
　　ヘ……高校家庭一般学習指導書明記のもの……○
　　同　　上　図示されているもの……◎
　　ト……高校家庭一般実習内容（ブラウスとスカート・ジャケット）より取扱われると思われるもの……○

◦基礎技術名の上に◎のものは和裁洋裁共通のもの，○のものは，方法その他に共通な部分のあるものをしめす。

基礎技術の呼称の点では大体一致しているようであるが，中に少数ちがったものも出てきている。学校では小・中・高通じて一致した技術名を用いないと不都合が大きい。しかし世間一般にどちらの名称も同じように用いているようならばカッコづけでもして取り上げておかないと卒業後に困る場合もあろう。基礎技術ではやり方を正しく知ることが主であるが，案外こうしたものが理解の上に不都合をおこすこともあると思われるので，なるべく簡単に統一されたいものと思う。

次に，これらの基礎技術は小・中・高の各段階ではそれぞれどの程度に扱われているかについて，先ず学習指導要領に示されているものをとり出し，表1に書き入れた。学習指導要領に基礎技術が示されているのは小学校だけで，中学校では製作品が示されているにすぎない。それでも改訂前のものに比べれば随分内容がはっきりしていて，これにもとづいて出される指導書などでは相当くわしく基礎技術の程度が示されるものと期待するものである。現行職・家の指導書では「……どの程度まで扱うかを熟慮して……」とあるだけである。高校では，指導要領には中学同様製作品を示してあるだけであるが，指導書にはくわしい分解図も示されていて，基礎技術学習の最終段階における程度のおよそを知ることができた。又，これらの学習は前にも挙げた通り基礎縫などで学習されるのではなく，製作品を通して習得してゆくものとされているので，実習例によって各段階における基礎技術をとり出してみると大体表1の資料2のようになった。これは勿論試案にすぎないのであるが，こうしたものが今後各方面で研究され学習の段階が明らかとなれば，技術学習も徹底され，生徒自身にも自己の進歩発展の程度が自覚され，興味も増してくることになるのではなかろうか。

Ⅳ　被服の家庭製作状況調査

高校家庭一般ではその目標として「家庭生活に必要な技術の基礎」とあり，しかも「日

常生活に緊密な内容を精選して」とあって，この内容の研究には現在の家庭生活で要求される程度を知る必要が痛感せられる。そこで家庭一般で扱う基礎技術内容を検討する前提として「最近一年間における家庭で仕立てられた被服（下着はのぞく）の種類と枚数」について調査してみた。手始めに本校女生徒を対象にしたのであるが，これは生徒一人の力でできるものではなく，家族の方々，主としてお母様方の協力によらねばならぬ性質のものなので，回答数は50余に過ぎず，調査としては不十分であるが，一応の傾向が現われるものとして集計してみた。（表2及び表3）

表 2　被服製作枚数別にみた家庭数と総家庭数に対する割合

和洋別＼枚数		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	計
和服	数	19	14	11	7	2	1	1					55
	%	35	25	20	13	4	2	2					
洋服	数	22	15	4	6	4	2	1	1				55
	%	40	27	7	11	7	4	2	2				
計	数	13	9	9	8	7	1	2	2	1	2	1	55
	%	24	16	16	15	13	2	4	4	2	4	2	

表 3　被服種類別にみた製作枚数と，総回答数に対する割合

被服の種類	女物綿ブラウス	女物袷長着	女物単長着	ウールスカート	綿スカート	男物単長着	女物綿ワンピース	女物セーター	男物丹前	女物スラックス	女物袷羽織	女物コート(洋)類	女物ウール長着	女物ウール羽織	子供セーター	子供綿ワンピース	子供綿ブラウス	男物袷長着	男物袷羽織	ウールツーピース	女物帯
数	85	72	70	47	39	35	28	22	19	18	17	17	15	14	12	11	10	10	9	9	7
%	155	131	127	85	71	64	51	40	35	33	31	31	27	25	22	20	18	18	16	16	13

被服の種類	子供スカート	女物綿入長着	子供ズボン	ウール女物ウールブラ	子供ツーピース	子供チョッキ	農業用作業衣
数	6	6	5	5	5	4	4
%	11	11	9	9	9	7	7

3枚（5%）のもの

被服の種類	女物ウールワンピース	女物ジャケット	女物綿スーツ	女物ヴェスト	子供コート(洋)類	子供パジャヤ	男物パジャマ	女物和服コート	女物和服トッパー	子供袷長着	子供単長着

2枚（4%）のもの

被服の種類	女物パジャマ	女物カーディガン	女物ジャンパースカート	子供カーディガン	子供毛糸ズボン	子供ジャンパースカート

1枚（2%）のもの

被服の種類	毛糸ソックス	女物毛糸チョッキ	子供毛糸チョッキ	子供毛糸ハーフコート	子供ウールワンピース	男物セーター	男物ズボン	男物ジャンパー	女物毛糸茶羽織	男物ウール長着	綿入れ絆纏	毛糸羽織下

総数合計	658	%
洋服	319	48.5
和服	259	39.5
準和服	33	5.0
毛糸編物	47	7.0

（準和服とは，ウール長着，ウール羽織，和服トッパー等）

回答を集めていて目に立ったのは，製作枚数が0という家庭で，統計的にみれば全家庭数55のうち24%の13家庭である。これを和・洋服別にみれば一層多く，和服を1枚も縫わないのは35%の19，洋服では40%の22家庭で，僅かの差であるが洋服を手にかけない家庭が多いということになる。この結果には，家族数や家族構成・職業或は仕立にたずさわる人の数や好みといつた複雑な要素もからまっていて，これをもって直ちに被服技術の必要程度を結論づけられるものではないが，現に家で一枚も仕立てなくても生活されている事実もあるということで，何から何まで主婦の手を経ねばならなかった時代は既に過ぎ，生活技術の面でも分業の時代に直面しているということを今更ながら認識させられたわけである。

家庭で仕立てられる被服の種類について見れば，和洋服別では総数658枚のうち洋服が48.5%を占める319枚，和服は44.5%の292枚，毛糸編物は7%の47枚という割合になる。洋服と共に和服も今のところ相当必要性を持つものかと思われるが，その中にはウール長着，ウール羽織，和服トッパー等洋裁技術の相当入ったものが5%の33枚を占めていて，今後の被服生活の方向等も予想されて面白い。

多いもの順に眺めてゆくと，最高は85枚の女物綿ブラウスで155%即ち平均して1家庭1.5枚ということになる。続いて100%を越えるものは女物袷長着，女物単長着といった順で和服が相当重要な位置を占めている。しかしこれを着用の必要性といった面からみれば相違するようで，他の調査によれば，生徒自身は勿論のこと，お母様方でも夏は殆ど洋服で，冬でさえも洋服使用の方が相当あるようで，今度の調査でも，和服枚数の多いのは特定の家庭で，その家族状況から結婚準備としてのものが相当あることがうかがえる。次に多いのはスカートで，ウールと綿を合せれば86枚で綿ブラウスを上回ることになる。続いて男物単長着，女物綿ワンピース等が50%以上を占めるものとなっている。女物セーターはこれに次ぐものであるが，毛糸編物としてセーター・カーディガンを総合すれば40枚近くで70%を占めることになり，重要性があるとみることができよう。ウールの和服等も相当縫われているようで，ミシン縫のため仕立も早く出来，手入れも簡単等の点で今後益々需要の増えるものであろう。子供の夏服等も，子供のある家庭では相当多く縫われているようで，女物の裏つき洋服類に比べ重要性が多いように思われる。

以上まことに簡単な調査の集計にすぎないが，家庭生活の現状の一端を示すものとして，家庭科教育上にも何らかの参考になればと思い，まとめてみました。これを契機として各方面の権威ある御研究等お知らせ願えればまことに有難いことだと存じます。